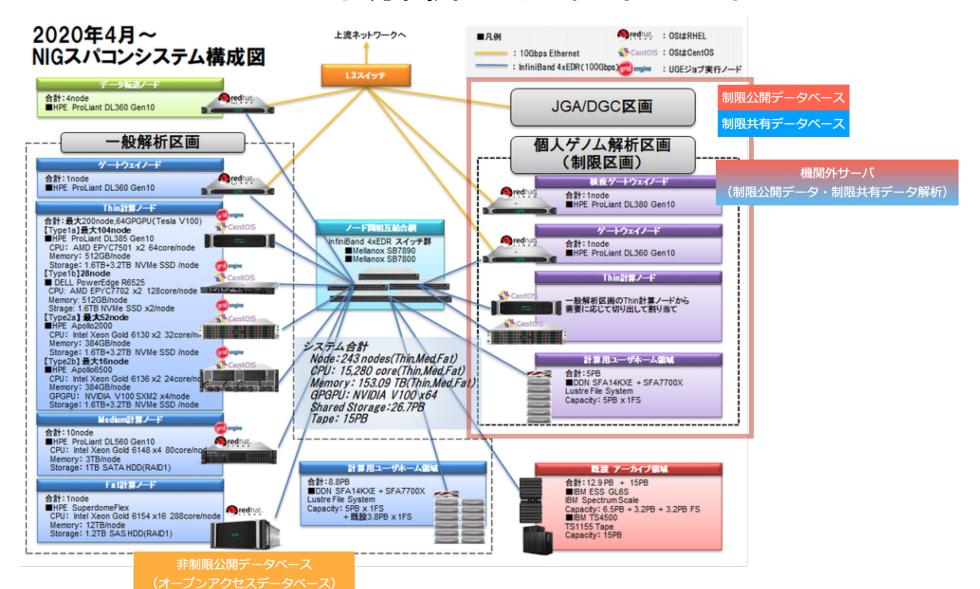
# DDBJサービスの統合化を目指して

○藤澤貴智、小笠原理、中村保一、有田正規

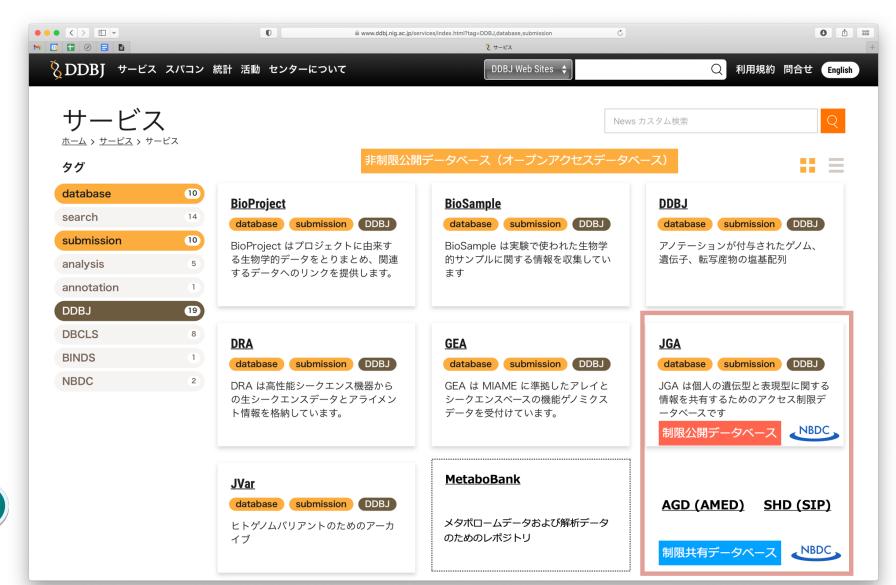
国立遺伝学研究所 生命情報・DDBJ センター



### DDBJ: サービスする解析プラットフォーム



## DDBJ: サービスするデータベース





**INSDC** 

### DDBJがかかえる課題とアプローチ

- 異なる仕様・実装・システムで構成されたDBが 多すぎる
  - アカウント(スパコン、データベースサービス利用者)
  - システム(レポジトリ・検索)
  - メタデータ・データ種別(塩基配列・配列 リード・functional genomics・メタボロー ム)
  - アクセス制限(非制限公開、制限公開、制限 共有)とその組合せ

#### マイクロサービス化

アカウント統合

DDBJ Search

広域登録システム

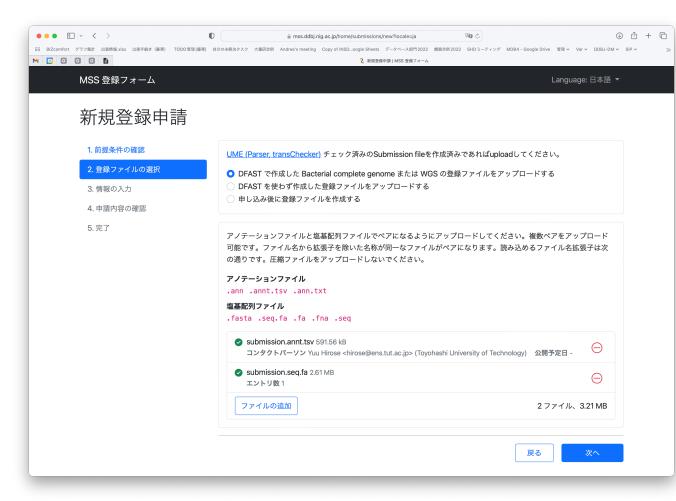
データ種別・入力形式 ・バリデーション

ネットワーク区画



### ゲノム等の大規模配列登録システム

- 2022年6月に正式リリース
- 基本操作は、DDBJサービス利用 ユーザ(D-way) アカウントで サインインし、前提条件の確認後 に登録形式ファイルをドラッグ& ドロップするだけ
- メールでのデータ受領を廃止し、 登録者・DDBJキュレーター両者 のコミュニケーションコストを軽 減





## データベース登録ナビゲーション



- Q&A方式で生物種やデータ種別を絞り込み選択してもらうことで、登録したいデータはどのデータベースへ登録が必要かをナビゲーション
- DDBJホームページに組 み込み、URL参照可能な ようにパーマリンクを生 成

## 今後の展望

- ゲノム等の大規模配列登録システムを発展させて、他のデータ ベース登録に拡張、既存システムの段階的にリプレイス
- データベースやデータ種別、生物種に連動して登録に必須項目が変わるため、まずは、メタデータ登録形式ファイル生成のための定義情報の再構築
- 大規模データのアップロード用のscpやsftpや高速転送プロトコルによるインターフェースとの連動、スパコンアカウント連携
- データ・メタデータのバリデーションツールや査定内容の公開

